科目ナンバリング	G-LAS15 80003 LB95						
授業科目名 <英訳>	環境防災生存学特論 Advanced Studies Harmonizing Disaster Management and Environmental Conservation			担当者所属 職名・氏名	総合生存学館 教授　山敷　庸亮 防災研究所　教授　矢守　克也		
群	大学院横断教育科目群	分野(分類)	複合領域系			使用言語	英語（日本語）
旧群		単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・前期	曜時限	水4	配当学年	大学院生	対象学生	全学向

（総合生存学館の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

授業概要）自然災害の防止・軽減のための社会基盤施設が河川流域や沿岸域の環境に与える影響は少なくない。この授業を通じて、国内外における災害の事例、環境悪化の事例、防災と環境保全の調和を図った事例を紹介しつつ、環境への悪影響や災害を極力減らすための考え方や技術について、様々な事例紹介および社会科学的・心理学的アプローチを通じて教員と学生による対話型の議論を展開する。

Society based institutions for the purpose of natural disaster prevention and reduction have a huge effect on the environments of river basins and coastlines. This course will introduce; examples of domestic and international disasters, examples of environmental degradation, and plans to harmonize disaster prevention and environmental conservation. All the while, professors will demonstrate how technology and new ideas can be used to abate disasters. Through a social sciences and psychological approach, professors and students will participate in interactive lectures about these issues.

（学習目標）人類の生存にとって環境の保全と自然災害の防止・軽減は極めて重要な課題であるが、この両者は時に相反する。このことを多様な事例を通じて学ぶとともに、相反する事象をどのように調和を取るか、地域に応じた技術的・社会的対策を数多くの事例の学習を通じて自ら考える能力を身につけることを目標とする。

【研究科横断型教育の概要・目的】

災害についての基礎的な知識と、災害と地球環境問題との関連性、そして災害と社会科学的／心理学的アプローチについて学び取ることを目的とする講義であり、自然科学や工学のバックグラウンドだけではなく、人文社会分野の方々についても受講されることを奨励したい。

[到達目標]

自然災害の概要と、それらを踏まえた適応力、特に社会全体のレジリエンス（防災・減災）を高めてゆくための専門知識、さらに今後起こりうる自然災害に対する「認知度　Consciousness」と「準備　Preparedness」を高めるための基礎知識について理解する。

When it comes to human survivability, although environmental preservation and disaster prevention are extremely important issues, they undoubtedly contradict each other. The objective for students taking this course is to figure out ways to bring these contradictions together by presenting various examples, along with mastering the ability to show the differences in technological and social policy based on region.

[授業計画と内容]

（山敷　庸亮、矢守　克也／15回　講義）

【第1～2回】　概説　気候変動と災害事象　（山敷）

【第3～4回】　豪雨災害　極端気象による豪雨災害の増加　気象レーダーの利用と気候変動　（山敷）

【第5～6回】　洪水災害防止と環境　（山敷）

【第7～8回】　河川環境と防災　（山敷）

環境防災生存学特論(2)へ続く↓↓↓

環境防災生存学特論(2)

【第9回】　　環境・防災問題に対する社会科学的アプローチ　（矢守）
【第10回】　　環境・防災問題に対する心理学的アプローチ　（矢守）
【第11～12回】大気海洋相互作用と災害　(山敷)
【第13～14回】複合災害と環境への影響　（山敷）
【第15回】　　まとめ　（山敷）
[Class 1-2] Outline of climate change and disasters. (Yamashiki)
[Class 3-4] Increases in extreme weather and heavy rain, the use of radar and climate change. (Yamashiki)
[Class 5-6] Flood prevention and the environment. (Yamashiki)
[Class 7-8] River environments and disaster prevention. (Yamashiki)
[Class 9] Social science approaches for environmental and disaster prevention problems. (Yamori)
[Class 10] Psychological approaches for environmental and disaster prevention problems. (Yamori)
[Class 11-12] Ocean-atmospheric interactions with disaster prevention. (Yamashiki)
[Class 13-14] Complex disaster prevention and environmental effects. (Yamashiki)
[Class 15] Conclusion

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

講義中に課する簡単なレポートと、最終回に提示するレポートにより評価する。
Grades will be based on a brief report assigned during the lecture and final report presented at the final session.

[教科書]

川井秀一、藤田正勝、池田裕一（編）『総合生存学　グローバルリーダーのために』（京都大学学術出版会,2015）

[参考書等]

（参考書）
寶馨、戸田圭一、橋本学（編）『自然災害と防災の事典』（丸善,2012）

[授業外学修（予習・復習）等]

現在我が国、そして世界で頻発している災害についてのニュースや通知について、できるだけ詳しく学習しておく。さらに、講義中に述べる参考資料などについて、自主的に学習することを望む。
Students are asked to review introduced materials and videos before and after each lecture.

[その他（オフィスアワー等）]

広い分野の学生の受講を期待する。
担当教員が講義の際連絡方法を提示するため、それに従う。
主担当　山敷　Yamashiki.yosuke.3u@kyoto-u.ac.jp
Contact information for each professor will be presented during lectures.